



香川大学工学部ニュース

No. 34, 2010.01.15

就任のご挨拶 ～新たな十年に向かって～

工学部が創設され10年以上が経過しました。現在、大学が中長期的評価をされる中、工学部は、入学志望者の確保、学生の学力向上、外部資金獲得の増加、地域との連携強化など、教育、研究、社会貢献のいずれにおいても多くの課題があります。大学改革が進み教育・研究体制を見直す時期である今こそ、今後の工学部の礎を築く良い機会であると捉え、我々工学部の教職員は力を結集して教育・研究に取り組む必要があります。

幸い工学部には多くの誇れるところがあります。新しい構想に基づく学科の教育・研究体制、時代に対応した教育内容、不景気の中でも比較的良い就職状況、そして多くの意識の高い教職員です。今年末には念願の新棟も建設されます。

これらを基盤として、学生に夢と希望を与える教育内容の充実、世界をリードする研究のさらなる高度化、教育・研究に基づいた地域社会への貢献など、今まで以上にこれらの課題の量と質の向上が求められています。これら実現のために学部構成員が一丸となって取り組む必要があります。今後ともご支援・ご協力をあらためてお願い致します。(工学部長 大平文和)



大平文和 工学部長

工学部『総合研究棟（仮称）』工事着工！！

工学部にとって宿願の新しい総合研究棟（仮称）の新営工事が始まりました。現在の2号館の西側に、9階建ての建物（床面積 約4,500 m²）が建設され、平成22年12月末の完成が予定されています。

新しい総合研究棟は、学生や大学院生への教育の充実や、共同利用研究スペースとして利用される予定です。また、企業等との共同プロジェクトによる地域貢献などにも活用し、香川大学工学部の更なる発展に結びつけたいと考えています。

(工学部教育研究評議員 増田拓朗)



新棟完成イメージ図

能見准教授が高松市文化奨励賞と芦原科学大賞を受賞しました

知能機械システム工学科の能見公博准教授が、高松市文化奨励賞と芦原科学大賞を受賞しました。高松市文化奨励賞は、市の文化振興に貢献し、将来の期待も高い人材を奨励するもので、芦原科学大賞は、香川県の産業振興や技術の向上などに貢献した団体や個人を表彰するものです。いずれも能見准教授が開発した超小型人工衛星「KUKAI」への貢献に対しての表彰となりました。(広報室)

写真(左から)大平文和工学部長、能見公博准教授、伊藤寛副学長



野田教授、吉田教授らのチームが芦原科学賞功労賞を受賞しました

安全システム建設工学科の野田茂教授、吉田秀典教授らの産学プロジェクトチームが、芦原科学賞『功労賞』を受賞しました。このプロジェクトチームは、耐震性能の高い石詰かごを開発し、その高度な土木技術開発の業績が認められ、今回の受賞となりました。(広報室)

写真(左から)四国 TLO 辻本和敬さん、(株)瀬戸内金網商工 黒田潔社長室長、(株)瀬戸内金網商工 白井常彦社長、大平文和工学部長、野田茂教授、吉田秀典教授



留学生の受賞報告（ネパール国若手技術者表彰）

平成 21 年 3 月に香川大学大学院工学研究科安全システム建設工学専攻で博士号を取得したネパール国トリブバン大学地質学教室講師のランジャン・クマール・ダハル博士が、顕著な業績を上げた科学技術分野の若手研究者として 12 月 5 日に Nepal Academy of Science and Technology (NAST: ネパール科学技術アカデミー) から表彰されました。これは、ダハル博士が博士課程在籍中の研究成果(国際学術雑誌に登載された降雨による斜面崩壊に関する研究論文 8 編)が高く評価されたものです。(広報室)



賞状を授与されるランジャン・クマール・ダハル博士
(右はネパール国 マダブ・クマル・ネパール首相)

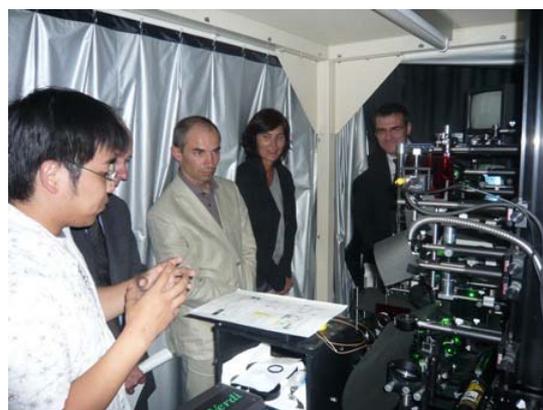
サボア大学関係者が工学部を訪問されました

平成 21 年 10 月 13 日（火）にサボア大学ポリテク・サボアの学院長 Laurent FOULLOY 教授他 3 名が工学部を訪問しました。サボア大学とは 2000 年から毎年、国際インターンシップ学生の相互派遣を行っており、今年は 10 年目になり、非常に活発な交流が続いています。

今回の訪問では、交流会を開催し、学科等の紹介を行い、5 つの研究室（長谷川研究室、末永研究室、澤田研究室、石丸研究室、郭研究室）の見学、社会連携・知的財産センターと香川県科学技術センター（From 香川）のナノデバイスラインの見学を行いました。サボア大学とは、今後も引き続き活発な交流が期待されます。（広報室）



長谷川研究室の見学



石丸研究室の見学

12名の学生が韓国の3つの協定校を訪問しました

平成 21 年 9 月 6 日から 12 日まで、5 名の教職員と 12 名の工学部学生からなる訪問団が香川大学交流協定校である韓国の 3 つの大学、南ソウル大学校、ハンバット国立大学校および韓国海洋大学校を表敬訪問しました。幸運にも天気に恵まれ予定通り訪問日程をこなすことができました。今回の協定校訪問では、学生が主体となり密な学生交流ができるようにという岡本研正教授（団長）の計らいにより、協定校 3 校とも、活発な学生交流を行うことができ、大変有意義な協定校訪問となりました。平成 21 年 10 月 21 日（水）には、報告会が開催され、香川大学に留学中の韓国人学生 6 名も参加し、交流を深めました。（広報室）



ハンバット大学での学生交流の様子



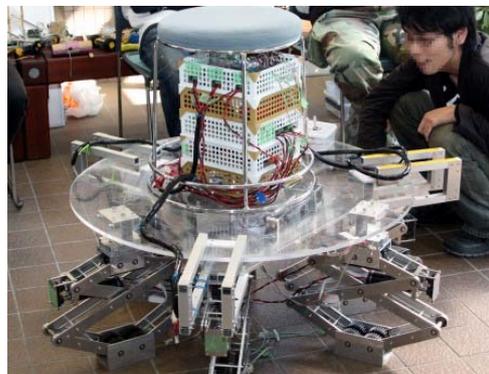
報告会の様子

第2回オープンキャンパスを開催しました

平成 21 年 10 月 31 日（土）、工学部第 2 回オープンキャンパスを開催しました。今年も大勢のお客様にご来場いただき、参加者数はおよそ 750 名となりました。ご来場くださった皆さん、ありがとうございました。（広報室）



防災教育支援事業フェスタ講演会「これからの学校と地域の防災教育」(関西学院大学 室崎益輝 教授)



ロボットワールド



降雨体験の様子



化学実験（掛川研究室）

工学部主催英会話クラス

平成 19 年度から、英語のネイティブスピーカーによる英会話クラスを実施しており、学生に大変好評です。オーストラリア人の Nick Fry 先生が、少人数のカジュアルでアットホームな雰囲気の中、4 クラス 27 人の学生に教えています。実際に話してみることが大事！ということで、クラスではたくさん話すように仕掛けられています。ある日のクラスでは、ひとりひとりが、先週末に何をしたかを前に出て話します。英語がすらすら出てこない時は、身振り手振りも交えてのコミュニケーションですが、Nick 先生がサポートしてくれます。他の学生や Nick 先生は、「週に何時間バイトしているの?」とか「どんな服を買ったの?」など、どんどん質問します。英語を聞いて英語を話すというコミュニケーションを楽しみながら、実践的な英会話力をつける絶好の場になっています。

(工学部教務職員 西岡愛)



授業の様子

研究室紹介： 安全システム建設工学科 末永研究室

本研究室では、水環境問題や水産資源生産力向上に関する研究開発を行っています。数値モデルによる流動解析を行い、魚類卵、海藻孢子等の移動・拡散を計算し、構造物設置適地を選定することで、効率の良い漁場造成システムを構築します。また、自然エネルギーである潮流を制御可能な水産資源増殖構造物や産業副産物を利用した生物親和性の高い基質開発にも取り組んでいます。それらを海域に設置し、学生達と現地調査に出掛けて生物生息環境改善機能の検証を行っています。

研究室のイベントとしては、海外での研究発表やボクシング観戦を通じて世界王者たちとの交流も行っており、戦う世界は違っても学生達のモチベーション向上に繋がっています。

これまでの研究成果は、文部科学大臣表彰、芦原科学大賞、PACON Service Award 等を受賞した他、成果の一部は国内外で実用化され、海域環境改善、水産資源保護・育成技術として期待されています。

(安全システム建設工学科 末永慶寛 教授)



末永研究室のメンバー

新任教員紹介

知能機械システム工学科 准教授 鈴木桂輔

(財)日本自動車研究所 (JARI) ならびにスウェーデン国立道路交通研究所 (VTI) にて、交通予防安全分野の研究に従事した後、名古屋市の大同大学にて、主としてマン・マシン・インタフェースに関する研究を、企業との共同研究の一環として実施して参りました。また、ものづくり教育の一つとして、小型フォーミュラレーシングカーの開発を行って参りました。今後も、これら分野の研究活動やものづくり教育活動を継続し、学生の皆さんが有意義な学生生活をおくることのできるよう、微力ながら貢献できればと思っております。



安全システム建設工学科 准教授 紀伊雅敦

東京工業大学大学院土木工学専攻で学位取得後、(財)運輸政策研究機構、(財)日本自動車研究所、(財)地球環境産業技術研究機構と3つの財団を渡り歩いて、昨年12月に本学に着任しました。専門分野は地域・都市計画ですが、中でも都市活動の数理的分析、政策効果の定量分析に主に取り組んでいます。この分野では環境、経済、安全、技術など社会を構成する様々な要素が関係するため、幅広い視点が必要になります。これまでの経験を生かし、香川における地域・都市問題の解決に役立つ研究を行うと共に、地域・都市分析のプロフェッショナルを育成したいと考えています。



末永教授が No.1 teacher に選ばれました

「No.1 teacher コンテスト」とは、学生サークル「MINtS (ミントス)」が大学祭のイベントとして企画しているもので、香川大学の学生によりナンバーワンの教員が選ばれるコンテストです。第2回となった今回は、工学部の学生から高い支持を受けた安全システム建設工学科の末永慶寛教授が No.1 teacher の一人に選ばれ、平成 21 年 10 月 30 日(金)の香川大学祭にて、特別講義「台風災害と高潮シミュレーション」を行いました。台風の軌道とボクシングのパンチ「左フック」には密接な関係があるという説明を用いた講義内容は、参加された方々からも「分かりやすい」「おもしろかった」「役に立つ話を聞けて良かった」と大変好評でした。(広報室)



ボクシングを用いて説明を行う末永教授

トピックス

学術賞受賞等

7月15日 加藤真吾(M2)(指導教員 長谷川修一)、溝口大介(M1)(指導教員 石塚正秀)、須崎純平(M1)(指導教員 山中稔)、金谷誠也(M1)(指導教員 松島学)、土木学会四国支部技術研究発表会優秀発表賞(社団法人土木学会四国支部) / 7月15日 高瀬裕史(M1)(指導教員 澤田秀之)、Student Travel Grant Award (ICROS-SICE(Institute of Control, Robotics and Systems - The Society of Instrument and Control Engineers), International Joint Conference 2009) / 8月7日 田原康宏(M1)(指導教員 石井知彦)第6回優秀オーラル賞(DV-X α 研究会) / 9月16日 北島博之、編集活動感謝状(社団法人電子情報通信学会) / 10月9日 馮旗、学術賞(日本イオン交換学会) / 10月16日 大平文和、鈴木孝明、寺尾京平、中野哲郎(M2)(指導教員 大平文和)、最優秀ポスター賞(社団法人電気学会センサ・マイクロマシン部門) / 10月24日 高瀬裕史(M1)、木谷光来(M2)(指導教員 澤田秀之)、IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 準優勝(IEEE) /

教員人事

9月30日 退職:伊藤寛学部長(10月1日付け 理事(副学長)就任) / 10月1日 採用:鈴木桂輔准教授(知能機械システム工学科) / 10月23日 併任:大平文和工学部長、清水秀明副学部長、中西俊介副学部長 / 12月1日 採用:紀伊雅敦准教授(安全システム建設工学科)

編集:工学部広報室 電話:087-864-2000 FAX:087-864-2032
e-mail:info@eng.kagawa-u.ac.jp http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/